

4 年 音楽科 学習指導案

1 題材 拍の流れによってリズムを感じ取ろう

- 教材 「いろんな木の実」 バホーゾ 作曲
「まきばの朝」 文部省唱歌 / 船橋栄吉 作曲
「風のメロディー」 平野祐香里 作詞 / 鹿谷美緒子 作曲

2 題材の考察

(1) 題材観

本題材は以下の学習指導要領第3学年及び第4学年の内容によるものである。

○中心的な指導事項

- A 表現(1)歌唱 ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつこと。
イ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くこと。
- (2)器楽 ア 器楽表現についての知識や技能を生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつこと。
イ (ア)曲想と音楽の構造との関わり
(イ)楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり について気付くこと。
- (3)音楽づくり ア(イ)音を音楽へと構造することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつこと。
イ(イ)音やフレーズのつなげ方の特徴が生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くこと。

○関連する〔共通事項〕

- ア (ア)音色、リズム、速度、旋律、強弱、拍、フレーズ
(イ)反復、呼びかけと答え、変化
イ リピート記号、8分の6拍子、p、mp、mf、クレシェンド、デクレシェンド

本題材では、これまでに身につけてきた拍の流れや拍子に対する感覚やそれを表現するための能力を伸ばしていくことに重点を置いて学習を進めていく。拍子としては、3年生で学習した4分の2拍子、4分の3拍子、4分の4拍子に加えて、新たに8分の6拍子でできた教材を取り上げている。拍の流れを感じ取りながら、拍子やリズムによって表現を工夫する学習は、友達と心を合わせて合唱や合奏に取り組むうえで大切な基礎となるものである。児童が歌詞の内容や曲想から感じ取ったり想像したことを生かしたりしながら、基礎的な表現の能力を伸ばしていくようにする。

「いろんな木の実」は昭和49年にNHKみんなのうたで発表されて以来、愛唱歌として広く親しまれている。ABA'の自由な形式だが、AとBの対比を基調とする三部形式と考えることもできる。ギロ、マラカス、クラベスによる特徴的なリズムを体験し、歌とリズム伴奏を合わせる楽しさを味わうことができる。のびやかな旋律A、A'と歯切れのよい旋律Bで構成されているので、曲想の違いを感じ取り、それを生かした歌い方の工夫に結び付けやすい。

「まきばの朝」は昭和7年「新訂尋常小学校唱歌」に登場し、平成元年から4年生の歌唱共通教材として取り上げられている。牧場の朝の爽やかな情景を、時間の経過とともに絵画的に豊かに表現した歌である。子供達が身近な経験と結び付けながら想像しやすい歌詞である。自然に満ちた情景を歌いやすい旋律にのせた曲である。鐘の音などの擬音語も興味・関心をかき立てる要素になっている。日本語の語感を生かしたまとまりのある旋律であり、息つぎや息の使い方を学ぶのにふさわしい。フレーズをとらえ、拍の流れにのりながら、のびやかな声で歌いたい。旋律の音の動きを感じ取りながら歌うことで、自然に盛り上がることを意識できるので、歌い方の工夫に結び付けることができる。

「風のメロディー」は8分の6拍子の学習を目的に作曲されたオリジナル曲である。歌詞や旋律、和声とともに優しさにあふれ、曲全体の雰囲気を通して8分の6拍子のもつ柔らかい表情を味わうことができる。また、8分の6拍子の横に揺れる感じ、優しく滑らかな感じの曲想を感じ取れる楽曲である。付点4分音符を1拍とすることで、2拍子のように感じて歌うことができる。旋律の音の動きから、曲の山をとらえやすい。曲の山を中心として、前後の強弱を工夫する歌唱表現の学習に結び付けることができる。ここでは、p、mp、mf、クレシェンド、デクレシェンドという強弱記号の名前と意味を理解し、曲の山を生かした歌い方を工夫したい。

さらに、学んだことを生かして『8分の6拍子のせんりつづくり』を行う。歌唱や鑑賞で学習した8分の6拍子を使って、自分で曲をつくり、リコーダーで演奏する。8分の6拍子のイメージに合った曲名とリズムを考え、そこにソラシドレの5つの音をあてはめ、せんりつづくりを行う。それぞれの過程で、友達同士で聴き合い、どのように考えてリズムを選んだり、音を選んだりしたのかを文にし、友達の考えを参考にして見直しをする活動を通して、自分のイメージに合った8分の6拍子の音楽をつくりあげることができると思う。

(2) 系統

1年『はくをかんじて
リズムをうとう』
・歌ったり体を動かしたりしながら、拍の流れを感じ取る。
・リズムの違いに気付き、拍の流れを感じ取って簡単なリズムを演奏したり、リズムに合う言葉を選び組み合わせる表現したりする。

2年『ひょうしをかんじて
リズムをうとう』
・拍子を感じ取りながら、リズム伴奏にのって歌ったり演奏したりする。
・リズム譜に親しみ、簡単なリズムを演奏したり、反復を生かしたリズムをつくったりする。

⇒

3・4年『拍のながれに
のってリズムを感じ取ろう』
《3年》
・拍子やリズムの特徴を感じ取りながら、拍の流れにのって表現する。
・反復や変化などの音楽の仕組みを生かして、まとまりのあるリズムをつくる。

⇒

《4年》
・拍子やリズムの特徴を感じ取りながら、拍の流れにのって表現する。
・6拍子の流れにのって、拍子を感じ取りながら表現したり聴いたりする。

5・6年『曲想を味わおう』
《5年》
・言葉の感じや曲想にふさわしい表現を工夫して、思いや意図をもって演奏する。
・曲想とその変化を感じ取りながら、楽曲の構造に気を付けて聴く。

《6年》
・曲想にふさわしい表現を工夫し、旋律の特徴や重なり方を生かして歌ったり、パートの役割にふさわしい楽器や演奏の仕方でも演奏したりする。
・曲想とその変化を感じ取りながら、旋律の特徴、反復や変化、強弱や速度などによる楽曲の構造を理解して聴く。

3 目標 拍子やリズムの特徴を感じ取りながら、拍の流れにのって表現する。

4 評価規準

観 点	評 価 規 準
ア 音楽への関心・意欲・態度	・リズムの特徴を感じ取りながら、拍の流れにのって歌ったり演奏したりする学習に進んで取り組もうとしている。
イ 音楽表現の創意工夫	・リズムやフレーズを聴き取り、8分の6拍子の拍子感や、強弱の変化が生み出す曲の山を感じ取り、曲想にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもっている。
ウ 音楽表現の技能	・発声や発音、フレーズに気を付け、歌詞の内容や曲想にふさわしい表現をしている。
エ 鑑賞の能力	・8分の6拍子が生み出す曲想を感じ取って音楽を聴いている。

5 指導方針

- ・常時活動として、『8分の6拍子のリズムあそびコーナー』のリズムを使って、手拍子をしたり、リコーダーで吹いたりする。リズムあそびを通して、8分の6拍子への抵抗感をなくし、8分の6拍子の流れにのれるようにする。
- ・ペアでの学習は、基礎的な練習から随時取り入れ、常にお互いに学び合いながら学習を進めていくようにする。
- ・旋律づくりの前に、8分の6拍子の曲の鑑賞をたくさん行う。指揮をするなら2つ振りか6つ振りのどちらになるのかのクイズも行うことで、8分の6拍子に親しむようにする。曲集「風の子」からも8分の6拍子の曲を探し、歌ってみることで、身近にもたくさんあることに気付かせ、8分の6拍子の流れやリズムの特徴にも気付かせる。また、鑑賞で感じたみんなの考えを渡し、曲名や旋律づくりをする上での参考にさせる。
- ・8分の6拍子のせんりつづくりでは、まず、8分の6拍子の拍の流れに合う曲名を考えさせる。その曲名のイメージに合うリズムや音を選ぶようにしていく。その際、つくっていく過程においても、なぜそのリズムや音を選んだのかを問いかけ、共有していくことによって、曲への思いや意図を明確にしながらかづくりを進めていくようにする。さらに、それを『曲しようかいの文』として書きとめておくことで、選んだ理由を友達にも伝えられるようにする。
- ・『きき合いタイム』では、曲しようかいの文を伝えてから演奏をする。友達と自分の曲を比較し、にているところ、違っているところをさがし、伝え合うことで、自分の曲の見直しにつなげていきたいと考える。それにより、自分の思いや意図に合った曲に近づけるようにしていく。
- ・最後は発表会を行うことで、音楽を伝える喜びや達成感を味わわせたいと考える。

6 指導と評価の計画（全9時間予定、本時は8時間目）

過程	時間	学 習 活 動	教師の支援及び留意点 (主体的・対話的で深い学びの視点)	評価規準 (評価方法)
つかむ	1	<ul style="list-style-type: none"> ・「いろいろな木の実」の範唱を聴き、歌や打楽器のリズム伴奏について気付いたことを発表する。 ・リピート記号の意味を知り、楽譜を見ながら旋律を歌詞唱する。 ・旋律Aと旋律Bの旋律の特徴に合う歌い方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律の特徴、打楽器の音色やリズムなどについて気付いたことを発表し、曲の感じをつかむように促す。【主】 ・旋律Aは「フレーズの終わりの音が長い。のんびりした感じ。滑らかに歌う。」、旋律Bは「うきうきする。弾んだ感じを生かして軽く歌う。」等出し、合わせる。 	<p>【関】リズムの特徴を感じ取りながら、拍の流れにのって歌ったり演奏したりする学習に進んで取り組もうとしている。 (行動観察、発言内容)</p>
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・「いろいろな木の実」で使う3種類の打楽器の演奏の仕方を知り、リズム伴奏をリズム唱し、手拍子で打ったり楽器で演奏したりする。 ・旋律Aと旋律Bに合うリズム伴奏の楽器の組合せを工夫して演奏する。 ・歌とリズム伴奏を合わせて演奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ギロやマラカス、クラベスの演奏の仕方について確認し、実際に楽器で演奏したり、歌と合わせながら演奏のまねをしたりして、拍の流れにのってリズムを打てるようにする。 ・旋律Aと旋律Bで楽器の組合せを工夫することにより、AとBの違いを生かした演奏を考えるようにする。【対】 	<p>【技】友達の歌声や楽器の音を聴きながら、拍の流れにのって、リズム伴奏を演奏している。 (演奏聴取)</p>
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・「まきばの朝」の歌詞を理解し、情景を想像しながら歌う。 ・語感を大切にし、言葉をはっきりと発音して歌う。 ・歌詞の表す情景を想像し、旋律が自然に盛り上がる部分を意識しながら、のびやかな声で歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・縦書き歌詞を読み、1～3番の時間の経過とともに変化する牧場の情景を想像するようにする。 ・子音や語尾を丁寧に発音できるように、ポイントになる言葉を確認する。 ・拡大楽譜に盛り上がる部分や歌い方について児童の意見を書き込み、工夫を生かした歌い方ができるようにする。【対】 	<p>【技】発声や発音、フレーズに気を付け、歌詞の内容や曲想にふさわしい歌い方で歌っている。 (演奏聴取)</p>
追求する	4	<ul style="list-style-type: none"> ・「風のメロディー」の曲想をつかみ、8分の6拍子の特徴を感じ取る。 ・8分の6拍子の流れを感じ取りながら歌う。 ・旋律の音の動きを感じ取り、拍の流れにのって歌う。 ・強弱記号を知り、歌い方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・滑らかな感じや優しい感じ、横に揺れているような感じなどの曲想をつかむようにする。 ・8分の6拍子を2拍子のように感じるために、曲に合わせて左右に体を揺らしたり、指揮のまねをしたりするようにする。 ・旋律の音の動きと強弱の関係に気付いて、歌い方の工夫に生かすようにする。【主】 	<p>【関】8分の6拍子の特徴を感じ取りながら、拍の流れにのって歌う学習に進んで取り組もうとしている。 (歌唱聴取・行動観察・ワークシート)</p>
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・8分の6拍子の曲をたくさん鑑賞し親しむ。 ・主な旋律に着目し、指揮のまねをしながら音楽を聴く。 ・8分の6拍子の曲の感じを聴き取り、ワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・8分の6拍子の曲をたくさん鑑賞させる。 ・2つに振るか6つに振るかのクイズを行ったり、曲のイメージをつかんだりすることで、8分の6拍子に慣れ親しませる。【主】 	<p>【鑑】8分の6拍子が生み出す曲想を感じ取って音楽を聴いている。 (行動観察・ワークシート)</p>
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で8分の6拍子の曲の曲名を考え、そのイメージに合ったリズムをリズムパターンの中から選び、4小節のリズムをつくる。 ・8分の6拍子の流れにのってリズム唱をしたり、リズム打ち 	<ul style="list-style-type: none"> ・8分の6拍子のリズムに慣れる活動を取り入れる。 ・リズムパターンをあらかじめ示し、自分のイメージに合ったリズムを選び、組合せを考えさせる。 ・リズムの特徴として同じリズムが続くと元気な感じになったり、 	<p>【技】拍の流れを感じ取って、リズムをつくる学習に進んで取り組もうとしている。 (演奏聴取・ワークシート)</p>

	をしたりする。	タンタが続くとやさしい感じにな ったりすることを感じ取る。【 対 】	
7	・つくったリズムとソラシドレ の5音を使って、旋律をつくる。 ・曲名のイメージに合っている か考え、いろいろな音をためし て演奏しながらつくる。 ・音の動きによって曲の感じが 変わることをつかむ。 ・できた曲を楽譜に書く。	・5つの音を使った8分の6拍子 の旋律の例をリコーダーで吹き、 特徴を感じ取るようにする。 ・いろいろな音をあてはめて演奏 することで、よりイメージに近い 旋律をつくらせる。【 主 】 ・音が上がっていくと盛り上がる 感じになるなど、せんりつ動き の特徴を捉えさせる。【 対 】	【 創 】5つの音の組 合せを工夫して、曲 のイメージに合った 旋律をつくっている。 (演奏聴取・ワーク シート)
8 本時	・友だちの曲とくらべて、にて いる所、違う所は何か考える。 ・きき合いタイムを行う。 ・自分の曲としょうかい文を見 直す。 ・友だちの曲を参考にして、自 分の曲のどんな所を直したのか を発表する。	・にている所、違う所は何かを考 えることによって、自分の曲づく りの過程をふりかえらせる。【 主 】 ・きき合いタイムでは、つくった 曲を友だちときき合い、リズムえ らび、音えらびで自分の曲とにて いる所、ちがう所を見つけて伝え るようにする。 ・自分の曲としょうかい文を見直 す。【 対 】	【 創 】8分の6拍子 の流れを感じ取りな がら、曲のイメージ に合うリズムや音を 選び、どのような音 楽をつくるかについ て思いや意図をもっ ている。(演奏聴取、 発言内容、ワークシ ート)
ま と め る	9	・8分の6拍子の曲の発表会を する。 ・発表の感想を伝え合い、全体 をふり返る。	・曲名やしょうかい文と曲が合っ ているか、拍の流れにのって演奏 しているか等、友達の演奏の良か ったところを見つける。

8 本時の学習指導

- (1)ねらい 8分の6拍子の流れを感じ取りながら、曲のイメージに合ったリズムや音を選び、どのような音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。
- (2)準備 教科書(教育芸術社)、ワークシート、リコーダー
- (3)展開 (8 / 9 時間目)

学習 過程	主な学習活動 ○予想される子どもの反応	時間 (分)	指導上の留意点・支援 ◎発展的な支援 △補充的な支援 (主体的・対話的で深い学びの視点)	評価項目 (評価方法)
つ か む	<p>1. 学習の準備として、8分の6拍子の歌を歌ったり、リズム遊びをしたりする。</p> <p>2. 前時までの学習をふりかえり、本時のめあてを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>友だちの曲とくらべて、に ている所、ちがう所は何か な？</p> </div> <p>○曲名、リズムのえらび方、 音のえらび方、曲の感じ、 曲しょうかいの文 など。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>めあて 友だちのリズムえらび 音えらびを参考にして 曲の見直しをしよう。</p> </div>	10	<p>・8分の6拍子の流れにのって、気持ちよく表現させ、楽しい雰囲気での学習をはじめようとする。</p> <p>・本時はつくった曲をきき合う活動を行うことを伝える。その際、自分の曲が友だちの曲と比べてにている所、ちがう所は何かを考えさせる。それを考えることによって、自分の曲づくりの過程をふりかえり、曲名、リズムえらび、音えらび、曲の感じ、曲のしょうかい文をどのように考えてつくったのかをふりかえる。</p> <p>・リズム選びでは「タタタが続くと元気な感じになる。」「タンタタンタが続くとやさしいなめらかな感じになる。」ことや、音選びでは「音が上がっていくと、盛り上がる感じになる。」「音が下がっていくと、さみしい感じになる。」「同じ音が続くと近づいてくる感じになる。」「音がとぶと</p>	

	○リズムえらびと音えらびで友達の曲とにている所やちがう所をさがして、自分の曲の参考にしたいな。	おもしろくなる。」など、みんなで考えたことをふりかえる。 ・きき合いタイムの後には、曲としょうかい文を見直す時間を設けることを伝える。	【音楽表現の創意工夫】 8分の6拍子の流れを感じ取りながら、曲のイメージに合うリズムや音を選び、どのような音楽をつくるかについて思いや意図をもって (演奏聴取、発言内容、ワークシート)
追求する	3. きき合いタイムを行う。 ・自分の曲を何度か演奏してから行う。 ○「タンタタンタが多いと、やさしくゆるる感じになっていいな。」 ○「高い音を使うと元気な感じになるな。自分の曲にも使ってみたいな。」 ○「楽しくておもしろい曲にしたいから、自分も離れた音を使ってみるかな。」	25 ・自分でつくった曲を何度か演奏し、自信を持って演奏できるようにする。 ・きき合いタイムでは、つくった曲を友だちときき合い、リズムえらび、音えらびの2つに観点を絞り、自分の曲とにている所、ちがう所を見つけて伝えるようにする。お互いに伝えられたら、ワークシートにサインをもらうようにする。 【主体】 ◎リズムえらび、音えらびによって、曲の雰囲気が変わることや、友達の思いや意図がどのように曲に表現されているのかを考えさせる。 △8分の6拍子の流れにのって演奏できるように一緒に演奏したり、リズムや音のどちらかに着目してきかせたりする。	
まとめ	4. 自分の曲としょうかい文を見直す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">友だちの曲を参考にして、自分の曲のどこを直したかな？</div> ○「友達のリズムや音をまねしたら、曲名のイメージに合う曲になったな。」 5. 本時の学習をふり返る。 ・ふりかえりカードに記入する。	10 ・席に戻り、自分の曲を何度か演奏し、友達の曲を参考にして、リズムや音を変えたり、曲のしょうかい文を変えたりさせる。 ・曲のどんな所を直したか聞くことで、リズムや音えらびの特徴を捉えさせる。また、しょうかい文も、曲への思いや意図を詳しく書けているか確認する。 ・自分なりのイメージをもって曲づくりをすることの大切さに気付かせる。【対話】 ・曲名に合うようにリズムや音を考えて8分の6拍子の曲づくりができたことを賞賛する。 ・次時は発表会を行うことを伝える。	

9 板書計画

めあて 友だちの**リズムえらび**、**音えらび**を参考にして、曲を見直そう

☆8分の6拍子の曲
はどんな感じ？

なめらか
ゆれている
楽しい 元気
なつかしい
悲しい さみしい
おどっている

☆8分の6拍子の
リズムあそび

ミートボール
♪ ♪ ♪

ゆれている感じ
やさしい なめらか

☆音えらび

上がっていくと…
もり上がる、明るくなる
下がっていくと…
さみしい、おわかれ
同じ音…元気、行進
音がとぶ…おもしろい

①風のメロディー → リズムあそび

② **友だちの曲とくらべて、にている所、ちがう所は何か？**

曲名、リズムえらび、音えらび、終わり方
曲の感じ、曲のしょうかい文

③きき合いタイム

曲しょうかいの文を読む。 → 演奏する。
→ 「リズムは～ がにっていました。(ちがいました。)
音は～
//
良かったところは～です。」 → サインをする。

④席にもどって、曲としょうかい文の見直し

友だちの曲を参考にして、自分の曲のどこを直したかな？

まとめ リズム・音のえらび方によって、曲の感じが変わった

ふりかえり

- ・友だちのリズムや音をまねしたら、曲名のイメージに合う曲になった。
- ・友だちがどんな気持ちで曲をつくったのかが分かった。
- ・次の発表会で曲の気持ちが伝わるようにふきたい。

♪ 8分の6拍子の曲 ♪

☆鑑賞した曲

「弦楽セレナーデ」チャイコフスキー 「モルダウ」スメタナ
「交響曲第6番 田園 第5楽章」ベートーベン
「シェエラザード」リムスキー=コルサコフ 「ノクターン op.9-3」ショパン

☆風の子 より

「夢の世界を」「あおげぼとうとし」「ありがとうさようなら」「思い出のアルバム」
「きよしこの夜」「小さな木の実」「みかんの花さくおか」

☆8分の6拍子の曲はどんな感じがしたかな?・・・みんなの考え

ゆっくり なめらか ふんわり やさしい ゆるやか なつかしい
しなやか きらめく おっとり おくる ゆれる ふわふわ 上品 平和
きれい 気持ちいい 落ち着いている 静か 美しい ステキな 高級
あったかい 幸せ ささやく おしとやか しっとり 自然な 奥が深い
おしゃれ 思い出す 希望 語りあう 昔みたい 演歌みたい

力強い はげしい 盛大 カッコいい 笑う 元気 おもしろい
スキップみたい 楽しい 明るい はずんでいる はなやか シャキシャキ

不安 暗い 不思議 渋い さみしい お別れ 残酷 終わりの感じ
むなしさ サスペンス もうすぎたこと

ホテルのロビー お城 ディズニー お祭り 発表会 柱時計 旅
野原 おどっている 恋 川の流れ 波 自由 子守歌 卒業式
友達にありがとうと言っている 夜 解決 遠くを見ている
ロマンチック 舞踊会でおどっている お祝い パーティー
人生のよう 英国みたい プリンセスの映画 小人 遠足
高級レストランで流れていそう ロボット 夢 マカロン ラピュタ
リス 空にゆれている 映画の終わるシーン アルプス 結婚式
森の中に迷い込んだ 目が回る

☆指揮をしてみたら・・・6つ振りよりも2つ振りが合う曲のほうが多かった。

↓

♪ 8分の6拍子の曲をつくる時の参考にしましょう ♪

♪ 音楽 ♪ ふりかえりカード

4年()組()番 名前()

全体のめあて

8分の6拍子の流れにのって歌ったり、きいたり、せんりつをつくって演奏したりできるようになろう。

ふりかえりのポイント

1. 自分から進んで友だちと協力しながら取り組めたか。
2. 今日のめあてができたか。
3. 自分の力でできたか。

	今日のめあて	ふりかえり			先生から	
		できた…○ もう少し…△				できたこと わかったこと
		1	2	3		友だちの考えを聞いて変わったこと 次に生かしたいこと など
1	8分の6拍子の流れを感じながら、やさしい気持ちで歌おう。					
2	8分の6拍子を感じ取ってきこう。					
3	8分の6拍子の流れに合う曲名を考え、リズムをつくらう。					
4	5つの音を使って、曲名に合うせんりつをつくらう。					
5	友だちのリズムえらび、音えらびを参考に、曲を見直そう。					
6	8分の6拍子の曲の発表会をしよう。					

4. 5つの音を使って、曲名に合うせんりつをつくろう。

- ① 5つの音〔ソラシドレ〕の中から曲名に合う音をえらび、3で書いたリズムの下に階名を書こう。リコーダーでふいて、たしかめながらせんりつをつくろう。
- ② できた曲を下の楽譜に書こう。

曲名 うさぎのおどり 作曲者 _____

※使う5つの音

ソ ラ シ ド レ

5. つくった曲の曲しようかいを考えて演奏しよう。

- ① 曲しようかいの文 を書こう。

リズムをえらんだ理由、音をえらんだ理由、どんなふうに吹きたいか など

1しう節目と3しう節目はうさぎがはかている感じをイメージしました。
 2しう節目と4しう節目は、ゆたつりとまわりながらおどっているようにイメージしました。楽しそうに聞こえるように、重アはいいです。

- ② まき食いタイムをしよう。つくった曲を友だちときき合い、リズムえらび・音えらびで自分の曲とにているところ、ちがうところを見つけて伝えよう。
 おたがいに伝えられたら下にサインをもらおう。

--	--	--	--

4. 5つの音を使って、曲名に合うせんりつをつくろう。

① 5つの音〔ソラシドレ〕の中から曲名に合う音をえらび、3で書いたリズムの下に階名を書こう。リコーダーでふいて、たしかめながらせんりつをつくろう。

② できた曲を下の楽譜に書こう。

曲名 運動会の開会式 作曲者 _____

※使う5つの音

ソ ラ シ ド レ

5. つくった曲の曲しようかいを考えて演奏しよう。

① 曲しようかいの文 を書こう。

リズムをえらんだ理由、音をえらんだ理由、どんなふうに吹きたいか など

さいしょは入じょうこうしんで最後は、これからきょうきかいはじまるからしずかになる。といつかんじにしたらからから山のおうにしました。

② まき食いタイム をしよう。つくった曲を友だちときき合い、リズムえらび・音えらびで自分の曲とにているところ、ちがうところを見つけて伝えよう。

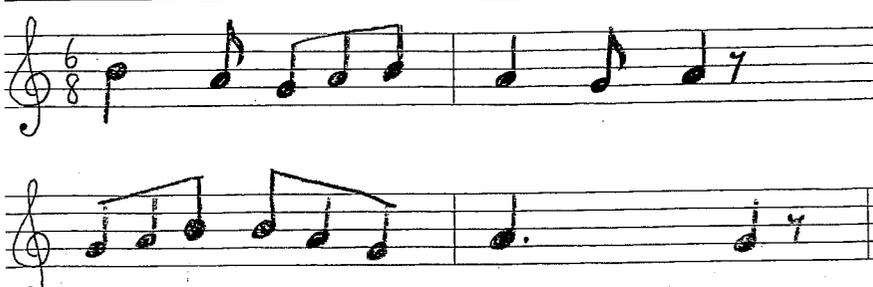
おたがいに伝えられたら下にサインをもらおう。

4. 5つの音を使って、曲名に合うせんりつをつくろう。

① 5つの音〔ソラシドレ〕の中から曲名に合う音をえらび、3で書いたリズムの下に階名を書こう。リコーダーでふいて、たしかめながらせんりつをつくろう。

② できた曲を下の楽譜に書こう。

曲名 たのしい森の中 作曲者 _____



※使う5つの音



ソ ラ シ ド レ

5. つくった曲の曲しようかいを考えて演奏しよう。

① 曲しようかいの文 を書こう。

リズムをえらんだ理由、音をえらんだ理由、どんなふうに吹きたいか など

この曲はゆったりしていて、小鳥のきれいな鳴き声をそぞろして作りました。また、♪ のリズムを使ってゆったりさせました。

② まき食いタイム をしよう。つくった曲を友だちときき合い、リズムえらび・音えらびで自分の曲とにているところ、ちがうところを見つけて伝えよう。

おたがいに伝えられたら下にサインをもらおう。

4. 5つの音を使って、曲名に合うせんりつをつくろう。

- ① 5つの音〔ソラシドレ〕の中から曲名に合う音をえらび、3で書いたリズムの下に階名を書こう。リコーダーでふいて、たしかめながらせんりつをつくろう。
- ② できた曲を下の楽譜に書こう。

曲名: ダンスパーティー 作曲者: _____

※使う5つの音

ソ ラ シ ド レ

5. つくった曲の曲しようかいを考えて演奏しよう。

- ① 曲しようかいの文 を書こう。

リズムをえらんだ理由、音をえらんだ理由、どんなふうにかきたいか など

ダンスをおどっているように、同じ音をえらんだ。
パーティーで楽しんでいるようにふきたい。

- ② きき合いタイム をしよう。つくった曲を友だちときき合い、リズムえらび・音えらびで自分の曲とにているところ、ちがうところを見つけて伝えよう。
おたがいに伝えられたら下にサインをもらおう。

4. 5つの音を使って、曲名に合うせんりつをつくろう。

① 5つの音〔ソラシドレ〕の中から曲名に合う音をえらび、3で書いたリズムの下に階名を書こう。リコーダーでふいて、たしかめながらせんりつをつくろう。

② できた曲を下の楽譜に書こう。

曲名 徒競走 作曲者 _____

※使う5つの音

ソ ラ シ ド レ

5. つくった曲の曲しようかいを考えて演奏しよう。

① 曲しようかいの文 を書こう。

リズムをえらんだ理由、音をえらんだ理由、どんなふうにかきたいか など

最初のソシラはしんはんのよーいドンを表していて、とち
うのレレ、ドド、ジジ、ララ、ラソは走っていてつかれているかんじで(レレレ)

最後の下はゴールしたとき。

② まき食いタイム をしよう。つくった曲を友だちときき合い、リズムえらび・音えらびで自分の曲とにているところ、ちがうところを見つけて伝えよう。

おたがいに伝えられたら下にサインをもらおう。
